

石田 木船

IKIF

睥睨工場

木船「石田」園子 退職記念展

IKIF 設立45周年

写真・雑貨デザイン・アニメーション装置の個人史

東京工芸大学中野キャンパス 2号館1階メディアラウンジ

2024. **2.21** (水) — **2.29** (木) 2.22 (木) 閉室

開室時間：11:00～19:00 最終日 17:00 まで

入場無料

協力：東京工芸大学芸術学部アニメーション学科／IKIF 木船徳光／東京造形大学

「阿耳曼陀羅 (二)」1986

Introducthion

1979年木船徳光と設立したIKIFと会社組織 IKIF+でアニメーション制作活動を行なってきましたが、自分の創作の原点は父、石田多実三がカメラマンであったことが要因の一つだと考えています。

父は1923年7月東京の幡ヶ谷で生まれました。奇しくも昨年100周年を迎えた東京工芸大学と同じ年で、幼少期に校舎を見ていた可能性もあります。

叩き上げてプロの商業カメラマンとなった生前の父から、尊敬する写真家が土門拳であることと「写大」という学校の存在を聞いた記憶があります。

自分が東京工芸大学に入職した2001年4月に父が亡くなり、入れ替わりのように始まった工芸大での教員生活も2024年3月で定年退職を迎えます。

その記念に写真との縁に始まる自分とIKIFの制作の歩みの一部を紹介する、小さな展示会を企画しました。ご覧いただければ幸いです。

写真の多実三の写真



石田多実三 (1923 - 2001)

1942 東京物理学校応用物理学科 (現 東京理科大学) 入学
1944 - 45 海軍予備学生として従軍
1946 富士重工株式会社 技術部 勤務
1953 日本テレビ放送網株式会社 写真部勤務
1954 有楽町日劇前「街頭テレビのプロレス中継を見る群衆」の写真を撮影
1964 株式会社セブンフォトグラフィ設立

アニメーションという映像メディアとの関わりは、父が向けるカメラと共に育ち、物心つくと父の写真の暗室に入り込んで、現像や焼き付けを見て面白がっていたところから始まっているようです。大人になってからの自分、IKIFの活動、娘の結婚や子育て、可愛い孫を、日常的に写真に撮り父は逝きました。

今、残された大量の写真に囲まれて、家族の個人史とIKIFの歩みが、一瞬一瞬の写真に切り取られている様を目の当たりにしています。長きにわたる時の流れが記録された写真を積み重ねていくことで、時間軸上にアニメーションとして現れるものを「写真の多実三の写真」と題するコマ撮り作品にする試みを、石田多実三の遺した写真の展示と同時進行で紹介します。

アニメーション装置

IKIFは大学時代に出会った古川タク氏 (※) の作品「驚き盤」(1975年) に影響を受け、「驚き盤」「ゾートロープ」等のアニメーション装置 (installation) や、それをモチーフとするアニメーション作品をいくつも手がけてきました。

また「驚き盤」を作る体験ワークショップを数多く実施してきましたが、それが教育に関わる原点になりました。

大学の絵本の課題として制作した作品から、IKIFで制作した作品、ゼミで学生が企画制作した装置も含め、上映・展示します。

※古川タク氏は2003年東京工芸大学芸術学部アニメーション学科設立時に教授に就任



「くるくるえほん」1978 installation
(撮影：石田多実三)



「くるくるえほんデジタル」2011 digital animation

木船「石田」園子プロフィール

1959年東京都生まれ。東京造形大学デザイン学科ビジュアルデザイン専攻卒業。1979年に木船徳光とアニメーション制作ユニット「IKIF」を結成。8ミリ、16ミリフィルムによる実験アニメーションの制作に始まり、ビデオ、デジタルに至る映像メディアの変遷と共に、映像インスタレーション、映像ライブ、商業アニメーションのデジタル・CG制作を行う。1997年よりCG制作スタジオ「株式会社IKIF+ (アイケイエフプラス)」を発足させ現在に至る。2001年より東京工芸大学芸術学部にてアニメーション教育・研究に携わる。2024年3月定年退職。

主な作品

『アニメーション百科』『CIRCLE』『回転 AB』『阿耳曼陀羅 (二)』『TVおどろき盤シリーズ』『ボーボー』

CG制作を担当した作品

『機動警察パトレイバー the Movie』CGディレクター『ミニバト』CGディレクター

『映画ドラえもん のび太のワンにゃん時空伝』OP『映画ドラえもん のび太と緑の巨人伝』OP

デザイン・玩具雑貨開発



「animation chichin-puipui」チラシ

大学でビジュアルデザインを学んだこともあり、学生時代や卒業後の上映会活動で、チラシ、チケット、ポストカードなどのグラフィック作業を担当していました。就職した玩具会社 (1981年～1987年) では、オリジナルを含めたキャラクターグッズ開発の仕事をデザイナーとして手がけ、さまざまな素材を扱ったり、市場調査、スケジュール管理や損益分岐点の計算まで、商品企画から流通するまでを担当しました。

全てアナログの作業でもあり、その記録としても現物を見ていただけたらと思います。



「MOVIE, OR NOT MOVIE?」チラシ



「TV 驚き盤・SUNCRYSTAL」1990 installation



「TV 驚き盤・SNOWCRYSTAL」1991 installation



「(二) 海の底 / At the bottom of the sea」1985 16mmfilm



「あにまんだら」1985 16mmfilm

東京工芸大学中野キャンパス 2号館1階メディアラウンジ

〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5

交通アクセス：地下鉄／東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線－中野坂上駅下車 徒歩約7分

1番出口より山手通りを初台・大橋方向に進み、成願寺を右折

